

千葉南高校 保健室だより

令和2年 第15号

南高の先生からのご投稿が続きます。

今回は2年生担任、テニス部と水泳部の顧問、外部活焼けのお兄さん、池田先生からのおすすめ本のご紹介です。

たまにはテニスがしたいと思っている数学科の池田です。緊急事態宣言が解除されている県もありますが、千葉県はもう少しの辛抱ですね。頑張りましょう。

読書というものを、普段はあまりしないのですが、私の好きな本について紹介してみたいと思います。本来なら「ギャグマンガ日和」と言いたいところですが、さすがに今回は他の先生方のように真面目にいきます。

日常的には読書をしない私ですが、気分で本を読むときがあり、その際は決まって特定のジャンルの本を読みます。それが「叙述トリック」が用いられた本です。家に名探偵コナンが全巻揃っている私は、つついコナンと一緒に本気で犯人を当てに行くのですが、叙述トリックが用いられているミステリーでは、まんまと作者にミスリードされてしまい、犯人を当てたためしがないです。まあその「やられたー！」って感じが好きなんです。ですから、みなさんにもその気持ちを味わって、すっきりしてもらいたいと思います。

今回私がおすすめする本は『殊能将之の「ハサミ男」(講談社文庫)』です。日頃から叙述トリックものを読むときは、今度こそ作者の手のひらの上で踊らされないようにと注意して、朝から晩まで犯人を考えるのですが、この本でも作者にまあ例のごとく弄られました。くやしい。叙述トリックを看破するには、観察力と思考力が必要だと思います。そのためみなさんもこの本で、観察力や思考力を鍛えてください。それは数学を解く力にもきっと繋がりますからね。



かなり長話をしてしまいましたが、実はこの文章は初めから、みなさんの観察力を試すために書かれています。あなたの観察力はどれほどでしょうか。

ゲーム感覚で楽しんで下さい。まあ気づいたところでしょうもないんですがね。

保健室からのおまけ

「ハサミ男」という題名を見て、最初に私が思い出したのは、「シザーハンズ (1990年)」という映画。まだ若い頃のジョニー・デップが主演。ティム・バートン監督とのコンビは「チャーリーとチョコレート工場」や「アリス・イン・ワンダーランド」など、この後も続きます。見た目は人造人間で怖そうなんだけど、彼の心はととてもあたたかい。先入観で人を見ないでほしい…。そんなことを教えてくれた映画だと記憶しています。